

# 平成 25 年度淀川水系アユモドキ生息域外保全検討委員会の開催について

## (結果概要)

1. 開催日時 平成 25 年 11 月 6 日(水) 15:00~17:20

2. 開催場所 近畿地方環境事務所会議室

### 3. 議 事

- (1) 淀川水系アユモドキ生息域外保全検討委員会設置要綱(案)について
- (2) 淀川水系アユモドキ生息域外保全実施計画(案)について
- (3) 実施に向けた課題等

### 4. 出席者

(委員)

阿部 司	株式会社ラーゴ	生物多様性研究室	室長/上席研究員
岩田 明久	京都大学大学院	アジア・アフリカ地域研究研究科	教授
上原 一彦	大阪府立環境農林水産総合研究所	水産研究部	内水面グループ長
松田 征也	滋賀県立琵琶湖博物館	総括学芸員/	(公社)日本動物園水族館協会アユモ ドキ種別計画管理者
渡辺 勝敏	京都大学大学院	理学研究科	准教授【座長】

(関係機関)

姫路市立水族館、志摩マリンランド、亀岡市文化資料館、京都府教育庁指導部文化財保護課、  
亀岡市教育委員会社会教育課、亀岡市環境市民部環境政策課  
(事務局) 近畿地方環境事務所 田村統括自然保護企画官、横田野生生物課長、蔵本自然保護官

### 5. 概要(主な意見等)

議事に先立ち、渡辺委員が座長に選出された。

- (1) 淀川水系アユモドキ生息域外保全検討委員会設置要綱(案)について
  - ・委員会名の「淀川水系」には琵琶湖も含まれること、本委員会は種の保存法に基づくアユモドキ保護増殖事業計画に基づき設置されるものであること等の確認がなされ、設置要綱(案)を了承。
  - ・また希少種情報を扱うことから会議自体は非公開とするが、希少種情報を除いた議事概要を公開することとなった。
- (2) 淀川水系アユモドキ生息域外保全実施計画(案)について
  - ・最新の科学的知見に従って、アユモドキの学名を *Parabotia curtus* とし、科名をアユモド

キ科に変更する。

- ・実施場所と施設に関して、アクア・トト岐阜も参加したいと要望があるので、事務局で調整の上追加を検討する。
- ・アユモドキの精子の冷凍保存を行うことを追加する。
- ・以上の他に今後も細部を検討し、必要な変更を行っていくこととされた。

(3) 実施に向けた課題等

- ・親魚は、6月の堰立上げ時に、堰直下に取り残され救出された個体の一部を用いる。その場合、救出数のうち何割を用いるか、野生個体群全体への影響が軽微である水準を検討しておく。救出後に遡上してくる親魚（繁殖機会を逸している個体）の活用も検討する。
- ・初年度は、距離的に近い姫路市立水族館に親魚を移送して飼育下繁殖を行い、稚魚が多く得られれば志摩マリンランド等で分散飼育を行うこととし、移送時の段取りを含めて各機関で準備を進める。
- ・生息域内保全に係る他の機関の取り組みと十分連携を図り、飼育下個体群の早急な確立に向けて協力を得る。

(以上)